

海と陸をつなげるテーマ-室戸ジオパークの試み-

The close connection between the sea and the land

柴田 伊廣^{1*}, 小松 幹侍¹, 植田 壮一郎², 岡田 哲也², 田中 圭一²

Tadahiro Shibata^{1*}, Kenji Komatsu¹, Ueta Soichiro², Okada Tetsuya², Tanaka Keiichi²

¹室戸ジオパーク推進協議会, ²室戸市役所

¹Muroto geopark promotion committee, ²Muroto city office

1. はじめに

室戸ジオパークは、「海と陸が出会い、新しい大地が誕生する最前線」を全体のテーマにしており、1)プレート運動によって形成された堆積構造や変形構造から見る付加体のダイナミクス、2)海成段丘から見る氷期・間氷期の海水準変動、3)地震による隆起を理解できる。

このように「海と陸のつながり」が実感でき、さらに、このような大地の上に育まれた自然、歴史、文化を通じて、地球の大切さを知ることができる地域である。

この室戸ジオパークならではの魅力を、これまで以上に市民や観光客に理解していただければ、ジオパークの推進につながることを期待できる。

そこで、各ジオサイトにテーマを設定し、ストーリー性を持たせることにした。

2. サイト設定の定義

GGN (Global Geoparks Network:世界ジオパークネットワーク) では、ジオパークを「地質学的重要性だけでなく、考古学的・生態学的もしくは文化的な価値もある、1ないしそれ以上のサイトを含む地域」としている。

よって、室戸ジオパークのサイト定義を、1)地質学、生態学、歴史学、文化的な価値のあるポイントを1つ以上含める、2)各サイトにテーマを設ける、3)各サイトで独立した探索ができることとした。さらに、それぞれのテーマを組み合わせることで、室戸ジオパーク全体のテーマが理解できる仕組みにした。

3. 具体例 (一部抜粋)

“F.行当-黒耳海岸サイト”は、「付加体のダイナミクスを実感する」をテーマにしており、堆積構造、変形構造、砂岩脈などを見て触ることができる。“O.深層水サイト”は、「深層水を実感する」をテーマにしており、深層水産業の関連施設を見学したり、深海生物を触ったりすることで、深層水の恵みを実感できる。

また、“D.吉良川町並みサイト”は、「備長炭で栄えた町を歩く」をテーマにしており、情緒あふれる町並みと、環境負荷の低い備長炭との関係などを知ることができる。なお、他のサイトについては、表1にまとめている。

4. サイトの組み合わせ

サイトごとにテーマを設定することにより、観光客が思い思いの旅行プランを立てやすくなる。例えば、深層水に興味がある観光客は、“O.深層水サイト”と“P.室戸スカイライン”を選択すれば良い。また、短時間で室戸の魅力を知りたい観光客は、“E.室戸キラメッセサイト”と“M.室戸岬サイト”を選択すれば良い。

5. 今後の展開

このように、サイトにテーマを設けて再構成することによって、観光客が知りたい情報を得やすくなったと言える。今後は、再構成したサイトの内容を、ホームページやパンフレット、看板等の媒体に反映させていく。

今後は、サイトにテーマを設定したことで、個々のジオスポットの内容が埋もれてしまわないようにする必要がある。これからは、ジオスポットも認識されやすい工夫をするなど、観光客により楽しんでいただけるようなサイトの紹介をしていく。

キーワード:室戸,ジオパーク,付加体,深層水,地震,海成段丘

Keywords: Muroto, geopark, accretionary prism, deep sea water, earthquake, marine terrace